

出題の意図

この問題は、企業における不正防止と内部統制の重要性を理解し、具体的な改善策を論理的に提案できるかを評価するものです。特に以下の能力を測ります。

1. 企業倫理・法令遵守の理解
 - ・コンプライアンスや社内倫理の重要性を認識しているか。
2. ガバナンスと監査の役割把握
 - ・内部監査・外部監査を含む仕組みを提案できるか。
3. 実効性ある再発防止策の提示
 - ・内部通報制度や意思決定プロセスの透明化（見える化）を含め、現実的な施策を示せるか。
4. 論理的構成員
 - ・問題の背景を踏まえ、原因分析→対策→期待効果の流れで記述できるか。

模範解答例（約 800 字）

A社で発覚した不正は、購入部長が特定業者から金品を受け取り、市場価格より高額な取引を行ったことに起因します。このような事態を防ぐためには、企業としてコンプライアンスを徹底し、ガバナンスを強化する必要があります。

第一に、**社内倫理の徹底**です。役員・従業員に対し、定期的な倫理教育を実施し、金品授受や不当取引の禁止を明文化します。これにより、企業文化として不正を許さない姿勢を浸透させます。

第二に、**内部監査と外部監査の強化**です。購買部門の取引を定期的に監査し、価格の妥当性や取引先選定の公正性を確認します。外部監査を併用することで、第三者の視点からチェック機能を高め、ガバナンスを実効性あるものにします。

第三に、**意思決定の見える化と内部通報制度の整備**です。購買決定のプロセスを複数人で承認する仕組みを導入し、取引情報を社内で共有します。また、内部告発が機能した事実を踏まえ、匿名で安全に通報できる制度を強化し、報復防止策を講じます。

これらの施策により、不正の抑止力が高まり、企業の信頼性が向上します。コンプライアンスとガバナンスを軸に、透明性と監査機能を組み合わせることが、再発防止の鍵となります。